

高崎北警察署協議会議事録

(令和7年度第3回定例会議)

開催日時	令和7年12月16日(火) 午後3時から午後5時までの間		
開催場所	高崎北警察署 大会議室		
出席者	委員 (定数11人)	杉田会長 中村委員 堀口委員 富所委員 須田委員 土屋委員 小林委員 金井委員 清水委員 堀内委員	計10人
	警察	根岸署長 藤井副署長 齋藤警務課長 山崎生活安全課長 清水地域課長 小暮刑事課長 二戸交通課長 天田警備課長 警務係長	計9人
	その他		

議 事 の 概 要

1 挨拶概要

(1) 会長挨拶

昨今、野生動物の出没などのニュースが頻繁に報道され、高崎北警察署管内も林野が多く心配していたが、管内における出没状況は平年並みと聞き安心したところである。

酷暑の夏を乗り越え、今後は忙しい年の瀬で厳しい寒さの季節となるが、警察官の方々には健康管理に留意し、今後も治安維持に励んでいただきたいと思っている。委員の皆様も、日頃から感じている意見や要望を出していただき、より良い高崎北警察署の運営に役立てればと考える。本日も、委員の皆様の忌憚のない積極的な意見をお願いする。

(2) 署長挨拶

平素より警察行政各般にわたり御支援、御協力をいただき御礼申し上げます。

本日は、前回諮問させていただいた事項につきまして答申をいただける予定であり、いただいた忌憚のない御意見、知見を警察行政に生かしたいと考えている。今後も、地域住民の目線に立った警察業務を推進していくので、更なる御支援、御協力のほどお願い申し上げます。

2 管内概況説明(説明者 署長)

(1) 刑法犯認知・検挙状況(R7.1~11月)

(2) 犯罪検挙人員状況(R7.1~11月)

(3) 特殊詐欺認知状況(R7.1~11月)

(4) 交通事故発生状況(R7.1~11月)

(5) 110番通報受理状況(R7.1~11月)

3 協議

(1) 答申事項

前回定例会議で「高齢者及び自転車利用者の交通事故防止・交通安全対策」について委員に諮問したところ以下の答申がなされた。

ア 反射材等の事故防止機材の配布、着用の促進活動や啓発活動の実施

イ 老人会、長寿会などに警察署員を派遣し、講習会や安全教育を実施

ウ 適正検査の厳格化、運転免許証自主返納の周知、セーフティサポートカーの活用促進

エ 小・中・高の学生に対する安全教育やマナーアップ啓発活動の実施

オ ながらスマホの取り締まり強化、指導の徹底

カ 自転車ヘルメットの装着義務化、着用促進指導の徹底、イベント等における自転車安全運転啓発ブースの設置

(2) 質疑、要望等 (○～委員、●～署長等)

○ 警視庁防犯アプリ「デジポリス」の様な防犯アプリを群馬県警察でも考えているか。
〔質問〕

● 生活安全部生活安全企画課において、犯罪情勢や不審者情報等を地図上で視覚的に確認出来るアプリを運用に向けて準備している。〔回答〕

○ クマの生活圏への出没が全国的に増加しており、メールやネットを使用していない等で、情報に接する機会が乏しい高齢者への対応はどうするのか。〔質問〕

● クマを含めた野生動物の出没情報等については、高崎市と連携の上、「上州くん安全・安心メール」によりタイムリーな情報発信を図っているが、メールを利用する機会が少ない高齢者については、交番で行う巡回連絡、ミニ広報誌の地域での回覧、パトカーによる広報活動、避難誘導などで対応している。〔回答〕

○ 住民の防犯に対する意識付けのため、警察や警察OB等に対して啓発活動の協力を要請できるのか。〔質問〕

● 警察署において生活安全課員や地域課員による防犯講話を行っている。また、群馬県警察においては、警察OB・OGで構成された防犯ボランティア団体「群馬県警察安全・安心サポーター」があり、各警察署の防犯活動に協力いただき、住民への防犯意識啓発活動に努めている。警察署へ問い合わせいただければ対応したい。〔回答〕

○ 犯罪被害者支援について教えていただきたい。〔質問〕

● 警察が認知した段階から、専門の担当員による経済的負担に対するの支援、精神的負担の軽減、安全確保などの各種支援を行っている。

また、県、市町村、各種機関、団体等とも連携し、途切れることのない支援が行われるよう「群馬県犯罪被害者等支援多機関ワンストップサービス」の運用を開始している。〔回答〕

4 備考

第4回定例会議は令和8年2月中旬の開催予定とする。